

福島工場が「とうほく SDGs アワード 2025」で奨励賞を受賞しました

森永乳業株式会社福島工場は、「一般社団法人 SDGs とうほく」及び「東北大学大学院経済学研究科」主催の「とうほく SDGs アワード 2025(※)」にて、「独自のサステナビリティ活動 継続スキームの確立」の取り組みが評価され、奨励賞を受賞しました。

(※)東北 6 県での企業・団体等の優れた SDGs 関連の取り組みを顕彰し、企業・市民・行政の各セクター間での学びを深め、地域課題の解決促進を目指したアワード。

工場あげての取り組みが着実に地域貢献の実績を上げてきた点に加え、社員が個別の関心に応じて社会活動への参画が可能となる仕組みづくりを行っている点が高く評価され、2023 年の「奨励賞」、2024 年の「審査員特別賞」に続き、3 年連続の受賞となりました。



「とうほく SDGs アワード 2025」受賞式の様子

2025 年 5 月、当社グループは「森永乳業グループ 10 年ビジョン」の実現を目指し、「森永乳業グループ中期経営計画 2025-28」を発表しました。この新しい中期経営計画の策定に合わせて、「サステナビリティ中長期計画 2030」も改訂を図りました。

引き続き、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、かがやく“笑顔”あふれる豊かな社会の実現を目指して、両計画を相互に連動しながらサステナビリティ活動に取り組んでまいります。